

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	市民環境課(環境衛生担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	ごみ埋立処理場施設整備事業	事業番号	10110

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-5	生活環境の充実
	施策目標	住みよい環境が保たれた清潔で美しいまち	

2 事務事業の目的

目的	ごみ埋立処理場の延命化を図るため、不燃ごみ等の破砕選別及び設備の適正な維持管理を行う。
成果	不燃ごみの破砕分別等により、埋立処分量を抑制することでごみ埋立処理場の延命化が図られ、衛生的な市民生活が守られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;">R2 ごみ埋立処理場整備工事、重機借上等</div> <div style="width: 80%; border: 1px solid black; padding: 5px;">R3 ごみ埋立処理場整備工事、重機借上等</div> </div>						
	R1							
	R2							
	R3							
	R4							
R4	ごみ埋立処理場整備工事、重機借上等							
事業費と内訳	(単位:千円)	H30	R1	R2	R3	R4	総事業費	
	事業費			5,068	24,981	2,689	32,738	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			2,300			2,300
		一般財源			2,768	24,981	2,689	30,438
	人員(人工)			0.17	0.17	0.17	0.51	
	職員費(人員×7,673千円)			1,304	1,304	1,304	3,913	
総事業費			6,372	26,285	3,993	36,651		
維持管理	管理主体	根室市						
	運営方法	直営						
	維持管理費	施設維持費			69,310	71,516	71,516	212,342
		概算人件費			10,022	10,022	10,022	30,066
合計/年			79,332	81,538	81,538	242,408		

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	埋立処分量	2,700t	2,595t	2,471t

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	不燃ごみの破碎分別による適正処分に取り組むことで、施設の延命化が図られ、衛生的な市民生活が守られる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>衛生的な市民生活を行う上で、廃棄物を適正に処理することは重要であり、ごみの最終処分場として必要不可欠である。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>一般廃棄物の処理は市町村の責務である。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>一般廃棄物の最終処分場の代替施設が他になく、早急な対応が必要である。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>施設の改修は施設能力の維持のためであり、必要最小限に抑えている。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>市民生活の衛生的な環境を維持するため、一般廃棄物最終処分場の適切な維持管理に努めることは公平である。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>他に代替施設がなく、既存施設機能の適正管理により、不燃ごみを適切に処分できることから、住みよい環境の維持に有効である。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【計画どおり実施】</p> <p>既存施設機能の適正な管理により施設の延命化を図り、生活環境の維持に努められたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p><input type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>破碎分別などにより不燃ごみの適正処分を進め、既存施設の延命化を行うことで衛生的な市民生活の維持・向上に努める。</p>

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	廃棄物処理施設整備推進課(廃棄物処理施設整備推進担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	廃棄物処理施設建設事業	事業番号	12826

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-5	生活環境の充実
	施策目標	住みよい環境が保たれた清潔で美しいまち	

2 事務事業の目的

目的	現在のじん芥焼却場は昭和56年4月に供用開始しており、主要機器の老朽化が著しく、安全性や経済性などに課題があることから、既存の焼却場に代わる可燃ごみ処理施設の整備を行い、安定的・衛生的な廃棄物処理体制を構築する。
成果	廃棄物処理施設の新設により、ごみ質の変化に適合した処理と、可燃ごみの増加に対応し、施設規模のダウンサイジングやランニングコストの低減が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2	廃棄物処理施設基本構想等策定						
	R3	循環型社会形成推進地域計画策定						
	R4	生活環境影響調査等						
事業費と内訳	(単位:千円)	H30	R1	R2	R3	R4	総事業費	
	事業費			13,014	3,600	92,350	108,964	
	内訳	国庫支出金					30,616	30,616
		道支出金						
		地方債					55,100	55,100
		その他			13,014			13,014
		一般財源				3,600	6,634	10,234
	人員(人工)			2	3	3	8.00	
	職員費(人員×7,673千円)			15,346	23,019	23,019	61,384	
総事業費			28,360	26,619	115,369	170,348		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	廃棄物処理施設基本構想等策定進捗率	0%	100%	-
	廃棄物処理施設建設進捗率	0%	0%	70%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	当市のごみ質にあった適正な可燃ごみ処理と、施設の維持管理経費の抑制が図られ、市民生活の向上が図られる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 衛生的な市民生活を行う上で、廃棄物を適正に処理することは重要であり、可燃ごみ処理施設の整備は必要不可欠である。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 一般廃棄物の処理は市町村の責務である。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 現在のじん介焼却場はごみ質の変化や可燃ごみの増加により、維持補修にも多額の費用を要しており、処理施設の整備は急務である。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 既存施設の大規模改修と新築についてメリット、デメリットを整理し、建設費やランニングコストの比較検討を踏まえたところであり、ごみ質や処分量に適合した適切な選択である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 衛生的な市民生活を行う上で、可燃ごみ処理施設は必要不可欠であり公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない ごみ量・ごみ質に適応した施設整備を行うことで、維持管理経費の抑制が図られるとともに、清潔で住みよいまちづくりを進める上で有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 ごみ質の変化や可燃ごみの増加に対応し、廃棄物を適正に処理するため、計画どおり整備を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する ごみ質の変化や可燃ごみの増加に対応した廃棄物処理施設の新設を進め、清潔で住みよいまちづくりの整備を進める。

作成年月 令和2年6月